

SPIRITS-J

Sitagliptin Registration Type2 Diabetes - Juntendo Collaborating Project

2型糖尿病患者に対するシタグリプチン投与による血糖コントロールへの影響に関する調査

SPIRITS-J NEWS LETTER 12月号

謹啓

今年は大震災が社会経済に大きな変化をもたらしました。節目となった年も暮れを迎え慌ただしい時節となりましたが、お元気でお過ごしでしょうか。

【第5回糖尿病循環器研究会が行われました】

12月3日夕方6時より、順天堂大学センチュリータワーにて第5回糖尿病循環器研究会が行われました。札幌や豊橋など、遠方からご参加いただいた先生方を含めて40名以上のご出席となりおかげさまで盛会となりました。年末のお忙しい時間を取っていただいた先生方に改めて御礼申し上げます。



研究会では、富野臨床研究センター長が開会挨拶を行い、本学における臨床研究センターの果たす役割や支援体制について、さらに SPIRITS-J はセンターが全面的に支援する、順天堂グループをあげての第一弾の研究案件であり、是非とも成功させて次に繋げたいとの力強い表明がありました。

講演では、糖尿病内分泌化の三田智也先生より、「SPIRITS-J 中間集計報告」として、11月中旬現在で症例登録された2,247名のうち1,772名分のベースラインデータと、HbA1Cを主軸とする症例解析の結果が発表されました。松岡 淨先生からは、シタグリプチンに関する最近の原著論文20誌を対象とした「Meta Analysis 報告」と、SPIRITS-Jの中間集計の比較を解説して頂き、SPIRITS-Jのデータに関する正当性と重要性が強調されました。

「長期追跡調査における安全性・イベント評価」では、シタグリプチン治療開始後3年間の長期追跡調査における長期安全性と有効性に関して、調査項目の確認とイベント判定委員会が新たに設置されたことが報告され、5名のイベント判定委員の紹介がされました。

当日の発表スライドは、ホームページに掲載しましたのでご覧ください。
(<http://www.juntendo.ac.jp/jcrc/index.html>、ID/PW:mezase/3000)

SPIRITS-J

Sitagliptin Registration Type2 Diabetes - Juntendo Collaborating Project

2型糖尿病患者に対するシタグリプチン投与による血糖コントロールへの影響に関する調査

【あたらしいパンフレットが出来ました】

研究開始以来『患者さんの参加同意をいただくのが難しい』という声を、多くの先生方より伺っておりました。そこで、今回の長期追跡調査にあわせて新しいパンフレットを作成致しました。特徴は、“現在、シタグリプチンで内服治療している患者さんの登録研究”であること、いわゆる“予後調査”であることを強調した内容に変更したことです。パンフレット一部を同封いたしますので、是非、ご活用いただき、先生方の少しでもお役にたてば幸いです。事務局まで必要部数を要請いただければ、ご送付いたしますので、電話、ファックスなどでご連絡をお願いいたします。SPIRITS-Jの症例登録は、平成24年3月末までです。目標の3000例に少しでも近づけるよう、あと一段のご協力をお願いします。

【投与 12 ヶ月後報告書のご提供お願い】

かねてご案内しておりました長期追跡調査に関する研究計画書は、倫理委員会の承認が得られ、インターネット・ホームページに掲載されておりますのでご覧下さい。印刷版につきましても、必要に応じて事務局にご請求お願いいたします。

また、すでに参加登録をしていただき、治療開始後 12 カ月を経過した症例につきましては、CRF を必要部数送らせていただきますので、返信用の封筒でご返送をお願い申し上げます。

謹白



平成 23 年 1 2 月 吉日

順天堂大学循環器内科 代田浩之 大村寛敏

糖尿病内分泌内科 綿田裕孝 三田智也

臨床研究センター 松岡 淨 岡崎源一郎 若菜恵子

事務局連絡先：tel 03-5844-6031 fax 03-3868-2805